

「幼稚園の思い出」

8 組担任 板倉 美和

私自身の幼稚園時代を振り返ってみると、残念ながら友達と何をして遊んでいたのか...などの具体的な記憶は既に薄れてしまっていて、はっきりと覚えているのは先生のことだけなのです。子ども時代の私は明るく元気で...と言いたいところですが、実は、周りの皆に「よくそんなに涙がでるねえ」と言われるほどに、とっても泣き虫な子でした。お弁当を食べるのが遅くなっては泣き、製作が出来なくて泣き、おまけに人見知りが激しかったという、先生泣かせの子どもでした。そんな思い出とともに、いつも優しく励ましてくれた先生を思い出します。薄れている記憶の中でそのことだけ鮮明に覚えているということは、私にとってとても大切な存在だったからでしょう。

今の子ども達も、これからいろいろなことを経験し、吸収し、成長していく中で、幼稚園時代の思い出は徐々に薄れて行くのかもしれませんが、ふと幼稚園時代のことを振り返ったときに「あまり覚えていないけど楽しかった気がする」と、よい思い出として記憶に残ってくれるように、一人ひとりの子どもと関わって行きたいと思います。

そして、私自身、子どもの思い出の中に残れるような教師でありたいと思っています。

「環境問題を考える」

11 組 藤井 信市

仕事を終えて帰宅すると、もうパジャマに着替えた娘が抱きついてきて、今日一日あったことをかわいい早口で話し始める。日に焼けたその顔が昨年よりも確実に成長し、おてんばのおねえちゃんになっていることに喜びを感じる。

どうやら今彼女は今日遊びに行ったお友達の家のことを話しているようだ。大きな犬と二匹の猫は苦手だったようだが、開放感あふれるその家がとても気に入ったらしい。自分の住むこのせせこましい賃貸マンションとはぜんぜん違うという。トランポリンでドンドン跳ねても怒られない。階段を駆け下りても叱られない。オモチャの片づけも最後で良い。こりゃ天国だ。我が家ときたら、隣の部屋へ行くのに、ちょっとスキップしただけで「下の家に響くからダメ」と怒られ、大きな声でダダをこねると「うるさい」と叱られる。お茶をこぼしただけでも「ハッ!」としてしまう。この差は大きい。この住宅環境問題が子どもの将来にどう影響するかについて私の身近に文献はないが、いずれにしても、騒音とほこりとまずい水のこのマンションに長居は無用だと思った。

そんな時、居間が吹き抜けになっていて天窓から青空が見えるとか、ベランダから深い緑の森が見えるとか、そんな贅沢ではないけれど、休日ごとに必ずどこかへ出かけなくても、家にいること自体がもうハッピーで、まさしくリラクゼーションの世界...そんな家を手に入れることができた...夢を見た。

目が覚めたとき頭が痛かった。やはり水と空気が悪い。こんなマンションに長居は無用だ。大きな声で「まったくもう!!」と言ったら、娘に「パパうるさいよ!」と叱られた。

「育児は無免許運転!？」

毎日新聞「おーい父親」から

最近家事は以前より随分楽になってきているが、育児は逆に格段に困難になってきている。

家事はある程度自分のペースでできるし、たいてい成果はすぐ出る。「今日の料理はうまいね」の一声で疲れは半分消える。

それに比べ育児の方は、今日は疲れたからやめようとはいかないし、失敗したらリセットする訳にもいかない。すべて1回限りの真剣勝負で失敗は許されない。そしてその成果は遙か先にしか出てこない。「今日の育児はうまいね」と夫に言われたとはあまり聞かない。

これまで、それでもみんな何とかやってこられたのは、社会に子どもが多く、子どもを育て

ることに対する理解もあり、近所に育児を手伝ってくれる人もいて、遊び場も豊かにあったので、ある程度大きくなると放り出せた。今はこれらの条件が殆どない。(近所に子どもが少なく密室の育児になりがちであるし、舗装道路にはひっきりなしにスピードオーバーの車が往来していて、「学校から帰ったら鞆を投げ出して外に飛び出すのが元気な印」なんてのんきに言っではいけない。)

人の身体に触る職業にはすべて国家試験があるが、親だけは訓練もなく、資格も持たず赤ちゃんに触っている。親だからという理由だけで無免許運転を許しているようなもの。

無免許だからだめという訳ではないが、親は(父親も)育児についてもっと研鑽すべきだし、何よりも夫婦が常にサポートしあい、夫もときには運転席で育児に取り組まなければならない。

.....

ネイチャースクール

8月26~27日厚田村山の手学園セカンドスクールをお借りし、おやじと子供達のネイチャースクールが開催されました。今回はオープン行事とし、非会員の親子やOBの参加もあったことから総勢101人の大イベントとなりました。

当日は朝からどしゃ降りでしたが、日頃行いの良いおやじ達の祈りが天に届き、集合時には一面青空、真夏を思わせる日差しの中での2日間でした。初日昼に幼稚園に集合、自家用車に分乗し、T氏自作のおやじクラブのロゴ入りトレイラーをひく車を目印に一路厚田へ。厚田ではまず海へ出て海水をくみ、鍋に集めて天然塩作り。海水を火にかけている間、おやじの指導のもと、子供達はペットボトルでロケット飛ばしをしたり、押し花ならぬ押し海草を作ったり、昆虫採取や野球ゲームなどで大はしゃぎでした。

夕食はおやじの手作りカレーライスでしたが、これが極上の出来で子供達も何度もおかわりしていました。そうこうしているうちに日も暮れ、花火を楽しみ、子どもを寝かしつけた後、テントから這い出てきたおやじの酒盛りは翌朝まで続きました。

二日目は、殆ど寝てないおやじも朝一番のラジオ体操で目を覚まし、午前中子供達はスイカ割やビニール袋の簡単パラシュート作り、サッ

カーゲームで汗を流し(本当に暑かった)参加記念におやじ手作りのメダルが授与されました。

最後にみんなで記念撮影し、昼前に現地解散となりましたが、まだまだ遊び足りないといへ向かう親子も多数いました。

幼稚園運動会

9月23日は待ちに待った運動会でした。おやじクラブでは幼稚園からの要請を受け、多数のメンバーがペイジェント(競技の合間の劇)に出演しました。ペイジェントでは恒例によりおやじクラブはスーパーダイオキシンとその仲間達のいわゆる悪役を、そしてお母さん達がアニーちゃんやくま・りす・さる・とら等の子供達の味方役を担当しました。(お母さん役に欠員があったりしたため幸運にも子供達の味方役を獲得したおやじもいました)

仮装廊のあるおやじ達は七夕フェスタに続きみな大ハッスルで、中でもラストシーンでなぜか「ちょんまげ」になったスーパーダイオキシンのオーバーアクションが子供達に受けていたようです。

23日・24日に予定されていた救命講習会・秋のゲーム大会は運動会と重なったことから延期となりました。

.....

10月14日(土)にお・クワ 10周年記念祝賀パーティーが開催されます。パーティーに併せ、シーガル号ヨットマン野村氏による記念講演会が予定されています。

..

今年から半日になった運動会に「ものたりないのでは?」との心配も囁かれていましたが、きっと家に帰った後もその日は運動会の話題で持ちきりだったでしょうし、3度の延期が功を奏し、絶好の運動会日和だったことも手伝い、思い出に残る楽しい1日になったはずです。

担当：なみかわ

E-mail : namikawa@mpd.biglobe.ne.jp